

市民文芸

短歌

令和元年
阿南市春季短歌誌上大会選

互選 福崎 孝子
健やかに卒寿を生くる夫今日は南京の種をポ
ットに埋める

互選 浅海 弥生
山菜莢を会の机に置く人の手もとがぼつと明
るくなりぬ

互選 森岡 圭子
ドリップの対流遅くなりゆきてカフェの奥ま
で届くうぐいす

入選 紅露 勝子
八五と八十一の二人して筍をむく午後所幸
せ

入選 谷一 民子
一合が二合になりて酒すすみ花びら浮かべ饒
舌な夫

入選 亀島賀陽子
山拓き植えし桜よ十五歳光を引きて四方に枝
垂る

入選 湯浅かや子
傷負へば指によもぎ葉貼る母の眼差し思ほゆ
幼き日日の

入選 吉形 和恵
シロウオの喉へ跳ねたる躍り食い五臓六腑に
春は広がる

入選 勢井 恒子
身に積みし澱剥がるるや静電気あしたは少し
素直になろう

俳句

阿南市俳句連合会選

石臼の小さきオアシス蓮の花

山川 喜美

ほっこりと豆飯の香や夕御膳

近藤ヤス子

夏みかん皿にもられし種百個

勝瀬奈奈子

シャツの袖二回捲りて夏始め

鈴木 順子

田靴脱ぐ納屋に客あり夏燕

阪牧 生子

浮き上る沖のタンカー夏霧へ

庄野 早苗

長くつの好きな幼子青蛙

喜来富士子

苔の花恐竜化石ありし山

佐野 峯子

百回忌修す墓前や花蜜柑

平野 貞子

味加減手加減メモリ梅漬ける

鎌矢美代女

川柳

阿南川柳会 田上 鶴子選

人生に苦はなしもつと走ろうか

原 公美子

一言で心が晴れる師の教え

渡邊 浪漫

戦火から拾った命運つづく

佐藤つたえ

逆境を踏み台にして夢を追う
流れ星ああ平成か流れ行く
鈴鳴らし先祖に告げる良い報せ

野村 敏子
鈴木レイ子
高木 旬笑

一般応募

心まで老化はさせぬ八十路坂
居候の蚊がお帰りと出迎える
見てますかあなたに届け恋火花
老いて尚生きる糧にと増やす皿

島尾美津子
武田 敏子
仁井 信子
吉田 當代

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

「坊っちゃん」のモデル・弘中又一先生

松原 伸夫

明治松山奇遇鞋 明治の松山 奇遇の鞋

登場名作走花街 名作に登場して 花街を走る

人知轉任富中事 人ぞ知る 転任 富中の事

在職三年活躍佳 在職三年 活躍佳なり

「坊っちゃん」：夏目漱石の小説

岩脇公園展望台に立つ

田中 公

那川碧水盡東天 那川の碧水 東天に尽き

今就新橋南北聯 今就新橋 南北に聯なる

欄下香蘭遲飛蝶 欄下の香蘭 飛蝶を遅ち

村郊方返熟平田 村郊方に返う 平田の熟すを

平泉中尊寺

高橋 静雄

辨慶主従名尚敦 弁慶主従 名尚お敦し

遠來高館弔幽魂 遠く高館に來たりて 幽魂を弔う

胸中獨唱蕉翁句 胸中独り唱う 蕉翁の句

人去空餘夏草繁 人去つて空しく余す 夏草の繁きを